誰もがいきいきと暮らせる　男女共同参画社会の実現を目指して

Vol. 4
令和２年９月発行

丹波市男女共同参画センターだより

地域活動における男女共同参画
― 多様な担い手を育む方法を考えよう ―

柏木 登起さん

一般財団法人明石ｺﾐｭﾆﾃｨ創造協会
常務理事兼事務局長
NPO 法人シミンズシーズ代表理事

私が関わっているあるまちづくり協議会は、先日“集まらない形”で夏祭りを実施しました。交流の場であり、子ども達の夏の思い出の場である夏祭りもコロナウイルスの影響で中止にするところがほとんどです。この地域も当初は中止も検討されましたが、老若男女多様なメンバーが色んなアイデアを出し合う中で、今回の夏祭りにつなげられたそうです。

その夏祭りとは、事前に子ども達に手持ち花火を配り、自宅前などで花火を楽しむ様子を SNS（LINE のオープンチャット）に投稿することで一体感を出そうというもの。当日の SNS には 350 人を超える方々が参加し「素敵な企画！」「楽しかった」「この地域に住んでてよかった」といったコメントとともに花火を楽しむ様子がたくさん投稿されました。

今、全国的に小学校区程度のエリアでまちづくり協議会などの「地域運営組織」を設立するところが増えています。丹波市では自治協議会や自治振興会がそれにあたります。

地域コミュニティの基礎となる自治会は人口減少、少子高齢化が進み、草刈りや清掃、神社や寺の管理といった役割を担うことが年々厳しくなっています。こういった個々の自治会での活動を補完することも地域運営組織の一つの役割です。しかし、私は女性や若者、事業所、地域外の住民など多様な人や団体を巻き込めることこそ、地域運営組織の大きな価値でないかと考えています。

自治会の多くは１世帯１票の会員制です。つまり、世帯代表で構成されるのが自治会です。家父長制が根強い日本では世帯代表が男性であることが多く、かつ、自治会役員は世帯主がなるものという固定的な意識が強いことから、自治会は男性中心に構成されがちです。

一方、新しい地域コミュニティの形である地域運営組織は全住民を構成員にしているところが多く、多様な方法で柔軟に運営できます。私が関わっている明石市の地域運営組織は、まちづくり応援隊などが運営の中心を担い、女性や若者、事業所など多様なメンバーが参画しています。家父長制を象徴する自治会も個人での参加を認めるところや、活動にはサポーターを募るところなども少しずつ増えてきました。

これからの地域づくりは、多様な人たちを「この指止まれ方式」で巻き込めるかどうかが重要になってきます。そのためにも、冒頭の夏祭りの事例のように、多様なメンバーが“ワイワイ”と「対話」する雰囲気があることが大切です。

「男女共同参画社会の実現」とは、男性・女性の共同や参画はもちろん、障がい者、高齢者、外国人、子どもも含めて誰もが暮らしやすい社会を実現することです。暮らしに一番身近な地域こそ、「多様な人々」が「多様なアイデア」を出し合える環境をつくっていくことが、男女共同参画社会の実現に不可欠ではないでしょうか。

男女共同参画センター 催し物案内

★特に記載のない場合、申込先は【男女共同参画センター】、開催場所は【市民プラザ】、
託児は【１歳半～／定員３名　※7日前までに要予約】です。

★新型コロナウイルス感染症の影響により、中止・延期になる場合があります。

交流　たんばの女性☆応援カフェ

～記者と子育て　その時々の最善を探して～

丹波で活躍する先輩女性からお話を聴き、自分らしい人生やワークスタイル、キャリアについて、一緒に考えてみませんか？

■とき / 令和2年10月17日（土）
10：30～11：30

■テーマ / 継続就業・育休復帰

■ゲスト / 古西純さん（丹波新聞社記者）

■司　会 / 山本智代さん（臨床心理士）

講座　第３回男女共同参画基礎講座

DV はなぜ起こるのか。虐待とも大きく関係しているのか―背景にある意識や、DV の実態を知り、正しい理解を深めます。

■と　き / 令和2年11月28日（土）
13：30～15：30

■テーマ / 「DV の現状と子どもへの影響
～あなたがもし相談を受けたら～」

■講　師 / 北村久美子さん
（生涯学習応援隊 so-so.39 代表、
NPO 法人女性と子ども支援センター
ウィメンズネット・こうべ　デートDV 講師）

講演会　男女共同参画講演会（丹波市男女共同参画センター開設１周年記念）

今や、在宅介護者の３人に１人は男性が占める時代と言われています。
「介護」という視点から、自分の「仕事と生活の両立」や「男女共同参画」について考えましょう。

■と　き / 令和２年 10 月 22 日（木）19：30～21：15

■テーマ / 「男性が介護するということ－男女共同参画の視点から」

■講　師 / 津止正敏さん（立命館大学産業社会学部特任教授）

■定　員 / 45 名（先着順）　　■託　児 / なし

講座　“私らしく両立したい”
子育てママのステップアップ講座

子育てと仕事の両立を考えている女性を応援し、自分らしいライフキャリアを考える連続講座です。

ゲストは、女性の就労・家事・育児・ワークライフバランスなどの問題を探求されている、中村さんと勝木さん。おふたりのガイドで、男性の子育てやパートナーとのコミュニケーションなど、仕事と家庭の両立のヒントを考えます。夫婦・カップルでの参加も大歓迎です。

«Step１　講演会編»

■と　き / 令和２年 11 月７日（土）10：00～11：30

■内　容 / 子育て本音トーク
～ﾊﾟｰﾄﾅｰと一緒に考える家庭内ｼﾞｪﾝﾀﾞｰ～

■講　師 / 中村和子さん（ｵﾌｨｽ EEE 男女共同参画ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ）
勝木洋子さん（兵庫県立大学非常勤講師）

■定　員 / 20 名（先着順）

■託　児 / あり（無料）※10/31（土）までに要予約

■申込先 / 氷上子育て学習センター（82-8689）

★«Step２　先輩に出会う編»«Step３　実践学び編»は、後日お知らせします。

相談　女性のための相談

«悩み相談»

女性の専門相談員（カウンセラー）が相談に応じ、新しい一歩を踏み出せるようお手伝いします。

■と　き/ 令和２年 10 月 13 日(火)、27 日（火）
（11 月以降も、月２回実施）

■時　間/ １回 50 分（各回１名）
①10:30～ ②11:30～ ③13:00～

■対象者 / 市内在住、在勤、在学の方

«第２回チャレンジ相談»

就職や起業、在宅ワークなど、何かをはじめたい女性に対してアドバイスを行います。

■と　き / 令和２年 12 月１日（火）

■時　間 / １回 50 分（各回１名）
①11:00～ ②13：00～ ③14:00～

■対象者 / 市内在住、在勤、在学の方

■相談員 / 藤原寛子さん
（社会保険労務士、ファイナンシャルプランナー、
キャリアカウンセラー）

事業報告

第２回 たんばの女性☆応援カフェ

“複業で、働き方をデザインする栄養士”

日　時：令和２年７月４日（土）
テーマ：「兼業・副業・地域活動」
ゲスト：足立美樹さん（「どんぐり食堂」代表、「注文を間違える喫茶店～だんない～」実行委員、市民活動支援センタースタッフ等）

市内で活躍する先輩女性の話を聞き、自分らしいキャリアについて、一緒に考えました。

足立さんは、「周りから見てどう映るか、ではなく、自分の中のやりたいことを大切にしてほしい」と参加者に伝えられました。

・・・参加者の声・・・

★ちょうどモヤモヤしている時だったので、本当によいお話が聞けてよかった。「やりたいことは言ってみる」という言葉に、とても共感した。

第１回男女共同参画基礎講座

“アンテナをはって男女共同参画をみる
～時代の変化と CM～“

日　時：令和２年７月 25 日（土）
講　師：小川真知子さん（NPO 法人 SEAN 理事長）

ジェンダー問題や、男女共同参画について様々な角度から分かりやすく学ぶ連続講座の第１回として、身近な CM などの事例を使い、男女共同参画の基礎知識について、データをもとに学びました。

小川先生は、「社会の中にある無意識の男女別のイメージに気付き、アンテナをはって、男女共同参画社会について考えてほしい」と話されました。

・・・参加者の声・・・

★まだまだ世界、日本の中には男女差があり、知らないうちにそれが当たり前になっているということを教えてもらった。

イラッとしたときの処方箋　アンガーマネジメントのススメ

日　時：令和２年７月 31 日（金）
講　師：梶原由美さん
（日本アンガーマネジメント協会ファシリテーター）

アンガーマネジメントとは、イライラや怒りといった感情をコントロールすることです。自分の思い込みのクセを知り、自己表現力を磨いて怒りと上手に付き合い、自分らしい生き方や働き方について考えました。

怒りは「自分が強く怒ればコントロールできる」という思い込みから、自分に近い人に対して生じてしまうことや、「怒っていいものと、悪いものを区別する」「機嫌や都合で、その境界線を変えない」ことが大切だと学びました。

・・・参加者の声・・・

★怒りをどうにもできないダメな自分だと思っていたが、怒ってもいいことや、対処法が分かったので希望が持てた。

男女共同参画“キホンの木”

毎年 11 月 12 日～25 日は 「女性に対する暴力をなくす運動」 期間 です！

11 月 25 日は、女性に対する暴力撤廃国際日です。夫やパートナーからの暴力、性犯罪、セクシュアル・ハラスメント、ストーカー行為など、女性に対する暴力は、誰にでも起こり得る身近な問題です。

「これくらいは暴力じゃない…」「自分さえ我慢したら…」と、一人で抱え込まず、話しやすい人に相談するか、下記の機関等に相談してください。相談を受けた方は、「あなたは悪くない」というメッセージを送ってください。また、自分たちだけで解決しようとするのではなく、相談機関を紹介してあげてください。

★丹波市配偶者暴力相談支援センター（86-8730）　平日８：30～17：15
★兵庫県配偶者暴力相談支援センター（078-732-7700）　毎日９：00～21：00
★丹波警察署生活安全課（72-0110）　24 時間対応

女性に対する
暴力根絶のための
シンボルマーク

活動情報 Pick Up

市内で男女共同参画社会を目指して、いきいきと活動をしているグループを紹介します！

柏原男女共同参画推進会『ウィズ・ユーかいばら』

（会長　福垣　惠子さん）

左から、亀井敏数さん、福垣さん、亀井美登枝さん、足立さん

柏原地区 17 自治会の男女共同参画推進員を中心に構成される柏原男女共同参画推進会は、柏原自治協議会と連携を深めながら、独自に活動する団体として、昨年５月に設立しました。

「あなたとともに、あなたと一緒に、男女共同参画のまち　柏原をつくりたい」という思いから、『ウィズ・ユーかいばら』の愛称が決まりました。この愛称を合言葉に活動をしています。

この日は、福垣惠子さん（会長）、足立敏行さん（副会長）、亀井美登枝さん（幹事）、亀井敏数さん（事務局長）の４名にお話を伺いました。

「明るく活力のあるまち」を継続するために

設立のきっかけについて、「丹波市発足時から 8,000～10,000 人といった急激な人口減少に加え、高齢化の実態を見たとき、男性だけの力では成り立たないと思いました。将来に渡って明るく活力のあるまちを継続していくためには、男女共同参画社会の実現が急務であると感じました。」と、足立さんは強く話されました。

また、男女共同参画推進員の亀井美登枝さんは、「何をしたらいいか、他の自治会がどのような活動をしているか、全く分からなかったです。」と悩んでいたことを明かされました。

「以前から自治会の横の繋がりがないことを懸念していました。」と話された亀井敏数さんは、男女共同参画推進員の皆さんの手を借りながら、自治会同士の連携を促すためにも、この会の立ち上げを決意したといいます。

大事なことは、意識改革

昨年度は、勉強会や料理教室を実施し、広報紙を発行しました。

福垣さんは、「会長になってほしいと言われたとき、何をしたらいいのか分からなかったです。しかし、慣習等により、男女差別が当たり前になっている現状があると思いました。まずは、『男女共同参画』を知ってもらうことから始めたいです。料理教室は、男女が協力しながら、楽しく開催できました。家庭でも、『一緒にしよう』という雰囲気になっていけば嬉しいです。」と、今後に期待していました。

男女共同参画のまちへ

ウィズ・ユーかいばらは、男女共同参画社会の実現に向けて、大きな一歩を踏み出しました。

今後は、他の活動団体とも交流し、先進事例をうまく取り入れながら、地域全体に広げたいと展望を抱いています。

丹波市男女共同参画センター

〒669-3467　兵庫県丹波市氷上町本郷 300 番地　丹波ゆめタウン２Ｆ（市民プラザ内）

開館時間：午前 10 時～午後 6 時　※毎週月曜日、年末年始（12/29～1/3）は休館日です。

TEL：0795-82-8684　FAX：0795-82-8692　Mail：danjyo-center@city.tamba.lg.jp

URL：https://www.tamba-plaza.jp/danjyo-c/